



サッカーでつながる友好の輪

— 気仙沼市・白鷹町小学生交流事業 —



気仙沼市

宮城県

白鷹町と観光友好都市である気仙沼市のサッカースポーツ少年団（気仙沼シヤークスFC）と、しらたかFC・ホークスサッカースポーツ少年団による交流事業が1月20～21日の日程で行われました。

この交流事業は、サッカーを通じて互いのチームのレベルアップと、地域間の交流促進を図ることを目的としたもので、今回で開催5年目。

開催のきっかけは平成23年3月11日に発生した東日本大震災。津波によってサッカーをする場所を奪われてしまった気仙沼市の子どもたちを白鷹町に招き、当時リニューアルしたばかりだった東陽グラウンドで、町の子どもたちと思い切りサッカーを楽しんでもらおうという思いから始まりました。今年度は白鷹町の小学生17人と

Interview—交流を終えて—

1日目のレクリエーションから、お互いに初対面の友だちと積極的に会話ができました。

2日目は、サッカーのチーム対抗戦を混合チームで行い、「がんばれ！」などと応援する声も聞こえて、一緒になって楽しく過ごすことができました。結果はともかく、励まし合っただけの仲間になっていくことの良さを感じました。

また、試合後には餅つき体験を行いました。僕たちは地区の行事や子ども会などで餅つきをしますが、気仙沼市の皆さんの中にはやったことがない人が多く、貴重な体験ができたのではないかと思います。

2日間、一緒にスポーツや食事をする中で、お互いにとっても仲が深まったと感じました。本当に楽しい交流会になりました。

しらたかFC・ホークス
小林 壮真くん

